

仙台まちづくり若者ラボ

私たちがつくる、
愛着ある仙台で働く意味

働くチーム「働くっぺ仙台」

メンバー紹介



石垣直哉

- ①お茶の井ヶ田株式会社
店舗開発部 マネージャー
- ②8年
- ③仙台を魅力ある街にしていきたいと思ったから！



森田いづみ

- ①宮城大学 事業構想学群 地域創生学類3年
- ②3年
- ③まちづくりに興味があり、色んな人と意見交換できるチャンスだと思ったから！



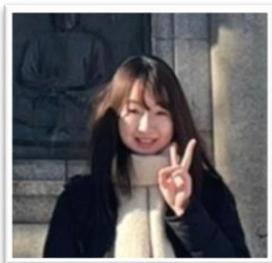
メンター：小野拓也

- ①(株)リクルートマーケティングパートナーズ
教育機関広報統括部
- ②4+3年
- ③Uターン転職で感じた仙台の魅力。もっと盛り上げていきたいと思います！



曳地綾香

- ①宮城学院女子大学 現代ビジネス学部
現代ビジネス学科3年
- ②21年
- ③生まれ育った仙台市にプラスになることをしたいと思ったから！



近江綾和

- ①東北大学経済学部1年
- ②14年
- ③仙台について興味があり、新しいことに挑戦してみたかったから！

- ① 所属
- ② 仙台居住暦
- ③ 参加理由

アジェンダ

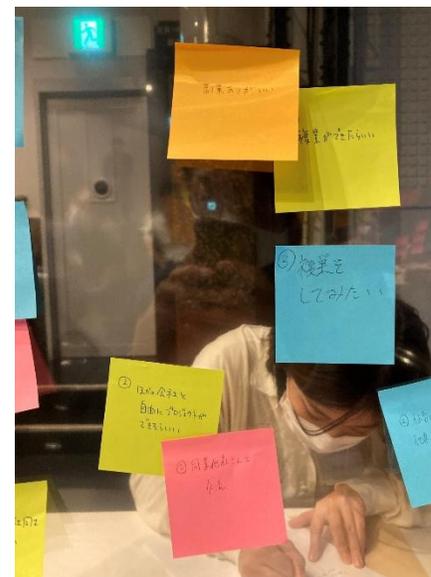
1. 第1回 ワークショップ
～ワーケーションについての取材～
2. 第2回 ワークショップ
～他企業間交流を行う団体のイベント参加+取材～
3. 第3回 ワークショップ
～アンケートの実施～
4. 活動まとめと今後のアクション
5. 「じぶんごと」としての今後のアクション

第1回ワークショップ

「働く」ってどういうこと？

- ①今感じている課題
 - ②こんな働き方ができたらいいという理想
 - ③気になるキーワード
- の3つを各自で書き出していった。

自分ごと化できる
テーマを選ぶため
に全て自分視点で



第1回ワークショップ

課題

「人」

企業間または社会人と学生の交流が少ない

「会社の制度」

保守的、金銭面、副業禁止

「仙台の会社の存在」

企業情報を知る機会が少ない、無い

理想

「副業ができたらいいい」

パラレルワーク

「働きながら旅行できたらいいい」

リモートワーク、ワーケーション

「他社と一緒にプロジェクトを行う」

交流の場づくりの促進

気になるキーワード

「ワーケーション」

なぜ「仙台」で働くのか？

※ワーケーション：「ワーク」（労働）と「バケーション」（休暇）を組み合わせた造語

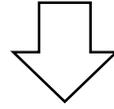
チーム名「働くっぺ仙台」誕生

《活動目的》

仙台で働くことを選ぶために

そして、選んだ後によりよく働くために

～私たちの知らない企業、ワークスタイル、価値観を知る～



「仙台にいながら違う価値観を取り入れたい」

「仙台だからできる新しい働き方は何だろう」

「仙台市の企業を周りに広める・知ってもらう・発信する」

《取材先》

① 「ワーケーション」の働き方や魅力について

② 仙台の地元企業(交流を促す団体)について

「ワーケーション」の取材にあたり

仮説

【解決されるべき課題】

- ・日本の働き方の多様性の低さ（若者に人気がない職種こそ多様性が必要なのでは？）
→仙台の働き方の多様性を広げるためにワーケーションは導入を促進されるべき
- ・在宅勤務によるモチベーションの低下

【ワーケーションを導入することによっての課題解決】

- ・働き方の多様性の糸口になる
→仙台で働く若者が増える
- ・リフレッシュでき、より仕事に集中できるようになる
→人と接する機会が減る在宅勤務によるモチベーション低下を防止できる

取材～ワーケーションについて～

取材先

濱野 友也様

株式会社VISIT東北

新規事業統括事業/宮城県ワーケーション協議会

株式会社GM7 執行役員

取材～ワーケーションについて～

ワーケーション導入によるメリット

短期的：打撃を受けている観光業や地元企業の売り上げにつながる

長期的：コロナ収束後のインバウンド需要を獲得するため



宮城県ワーケーション協議会の立ち上げ

→宮城県の地方自治体や企業が参画しているワーケーションのプラットフォーム

参画団体同士の交流を通じて宮城県の「強みを作っていく」

そして「課題を解決していく」ことを目指していく

取材～ワーケーションについて～

取材を通して

ワーケーションは長期的にインバウンドを見据えており、今後多様性に富んだ働き方であると感じた。

しかし、

- ・ 実際の事例はまだまだ少ない
- ・ 働く人の視点がいまいちわからない
- ・ 受け入れ側や利用者の課題がある
- ・ スタートしたばかりで、可能性は未知数 など課題も多く

現時点では、**仙台で働く理由には繋がらないように感じた…**
自分たちが何を求めているか再出発。

第2回ワークショップ

振り返り

ワーケーション協議会のお話を伺って感じたこと

→ワーケーション協議会については知れたが、実際にワーケーションに興味を持って働いている人やワーケーションを受け入れている**当事者の目線が知れなかった。**

ワーケーションが“仙台で働く理由”になりうるか

→魅力的だが、**“自分たちが仙台で働く理由”にまではなり得ない。**

ONE MIYAGI参加で取り組むこと

→やっぱり、仙台で働く理由をきちんと理解した上で仙台で働きたい。
地元で働いている人の働く理由を調査。

ONE MIYAGIへの参加

ONE MIYAGIとは

ONE MIYAGIはONE TOHOKUの分科会の1つで宮城県内の企業に所属するメンバーで運営。

ONETOHOKUの中でも特に宮城にスポットを当てたイベントなどを展開。



講演 & ワークショップ

Withコロナ時代に考える

地元企業が創る 「宮城」の魅力とは？

11月4日(水) 19:00～

場所: 綴cafe

仙台市青葉区北目町4-7 HSGビル 1F

参加費: 1,000円(税込)

定員: 15名(専用フォームより事前申込制)

主催: ONE MIYAGI 協力: NPO法人 ファイブブリッジ



トークテーマ

「世界から見た美味すぎる東北」
～世界に東北を売り込むために、
世界から東北を見てみよう～

Fisherman JAPAN
東北・食文化輸出推進事業協同組合

土合 和樹氏



東北の魅力を探す
ワークなども実施

ONE MIYAGIへの参加

参加目的

- ・ 地元の企業間交流団体の活動に触れてみる
- ・ 地元企業で働くひとたちと宮城の魅力について考える

参加して感じたこと

- ・ 様々な企業、様々なバックグラウンドを持つ人が交流することの重要性
- ・ もともと仙台に**愛着**を持ち、働いている人が多い



第3回ワークショップ

ここまでの活動を通して

あえて特定の土地で働く理由には地元愛のような「**愛着**」が占める割合が大きいのではないか？という気づき。

「地元だから」「愛着があるから」だけを働く理由とせずに、「仙台は〇〇があるから働きたい」という魅力を、つくることに**チャレンジ**できないか？

アクションプランに向け

社会人と学生が交流する場を作る仙台市で働きたい／働き続けたいと思えるイベントを開催することはできないだろうか？

アンケート調査

狙い

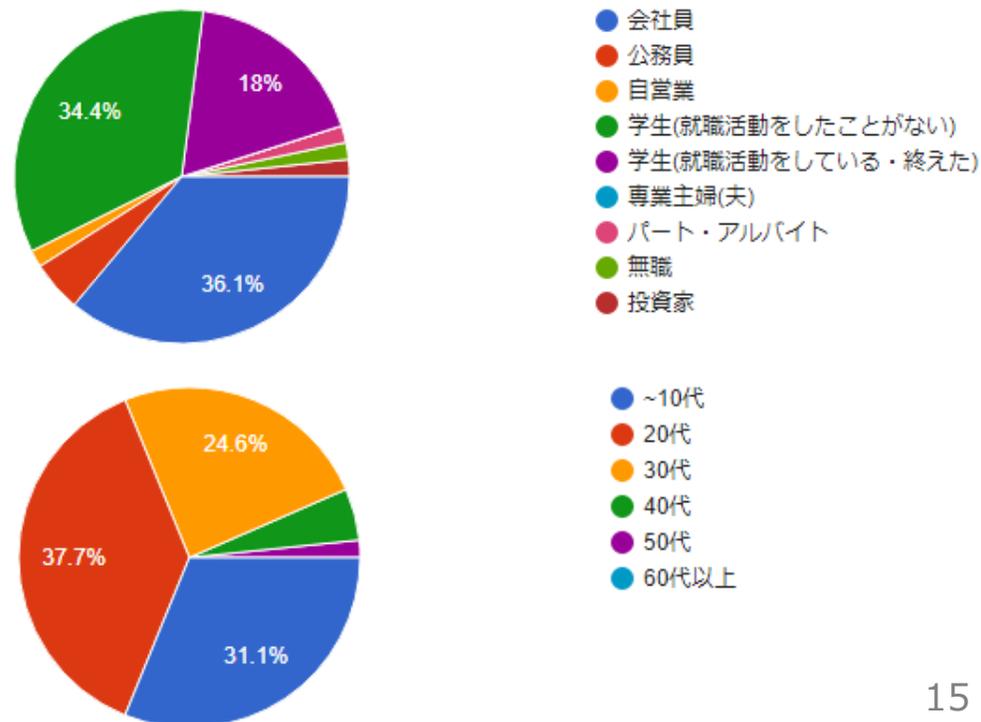
働く企業選びの際に土地への愛着以外にどのような理由があるか調査する。
調査結果からニーズのありそうなイベントを企画し、
ONEMIYAGIなどの力を借りて主催する。

調査対象

主に仙台市在住の社会人・学生
(仙台市以外の在住者も回答者に含む)

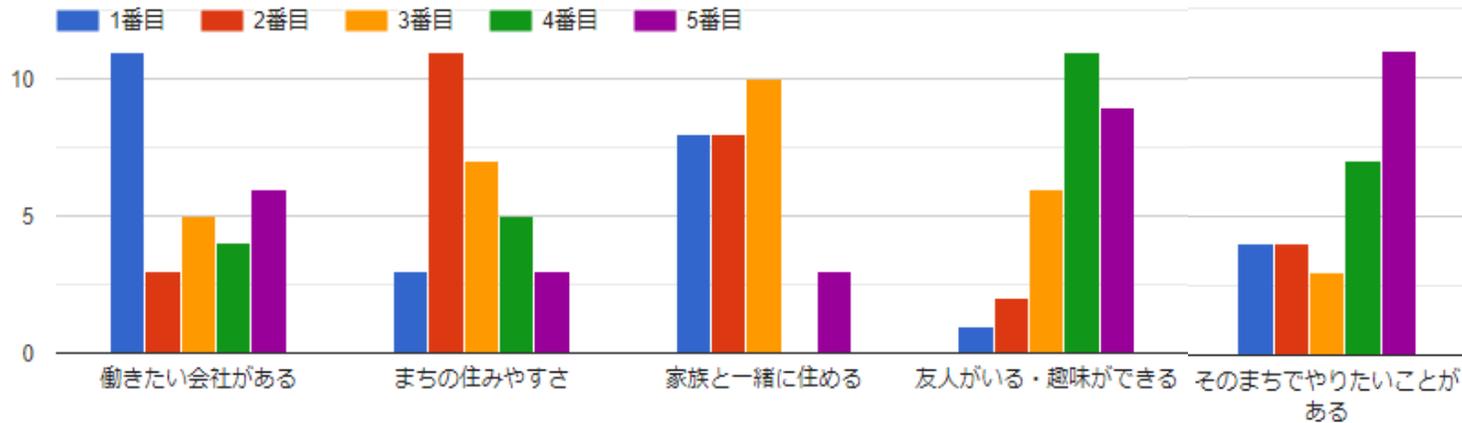
回答者属性

- ・ 社会人 29名 学生 32名
- ・ 30代までの若年層の回答がほとんど(57名)



アンケート(社会人向け)

働くまちを選ぶうえで重要だと感じる順に選択してください



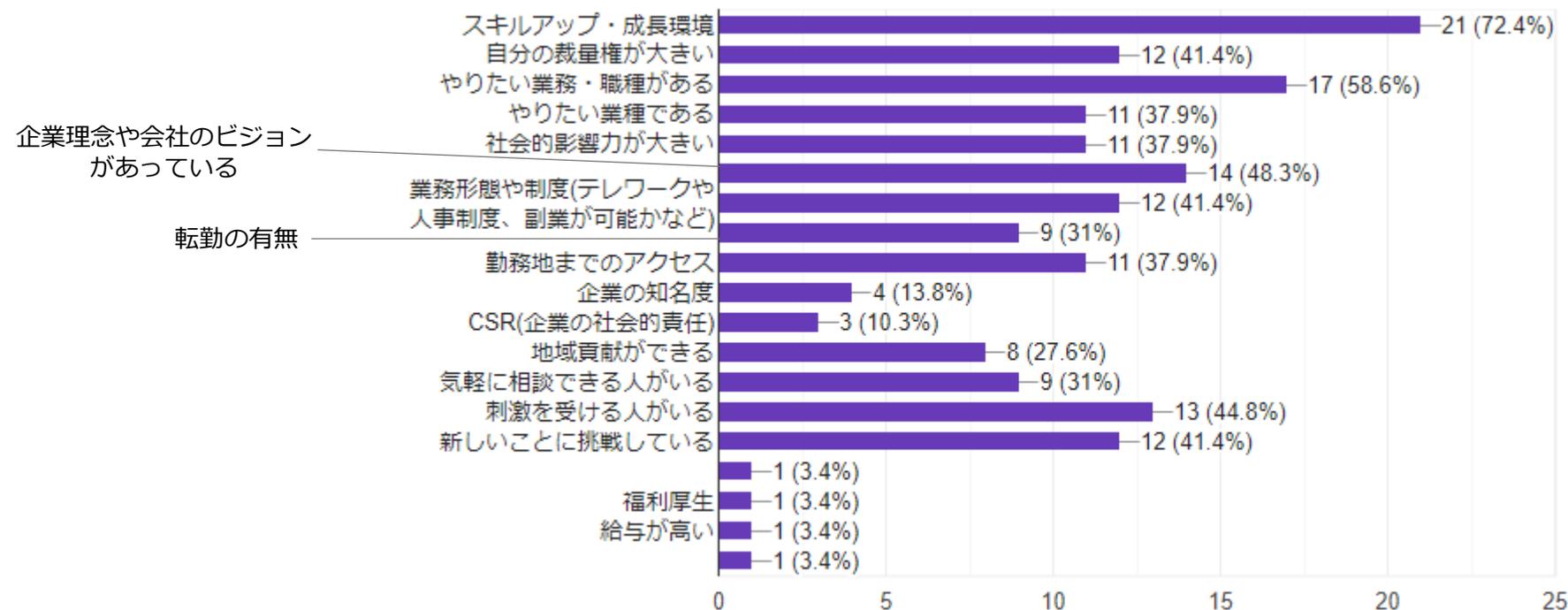
自由記述：なぜ仙台(その土地)で働いているか

- ・就職した企業が仙台だった／配属先だった
- ・まちの雰囲気が好き
- ・地元貢献したい

✓働くまちを選ぶうえで、働きたい会社を最重視
→「仙台であること」を最重視する人は少なく、
やはり会社や家族が不可欠な要素となる。

アンケート(社会人向け)

働く企業（環境）において、あなたが重要だと感じるものを選択してください(複数選択可)

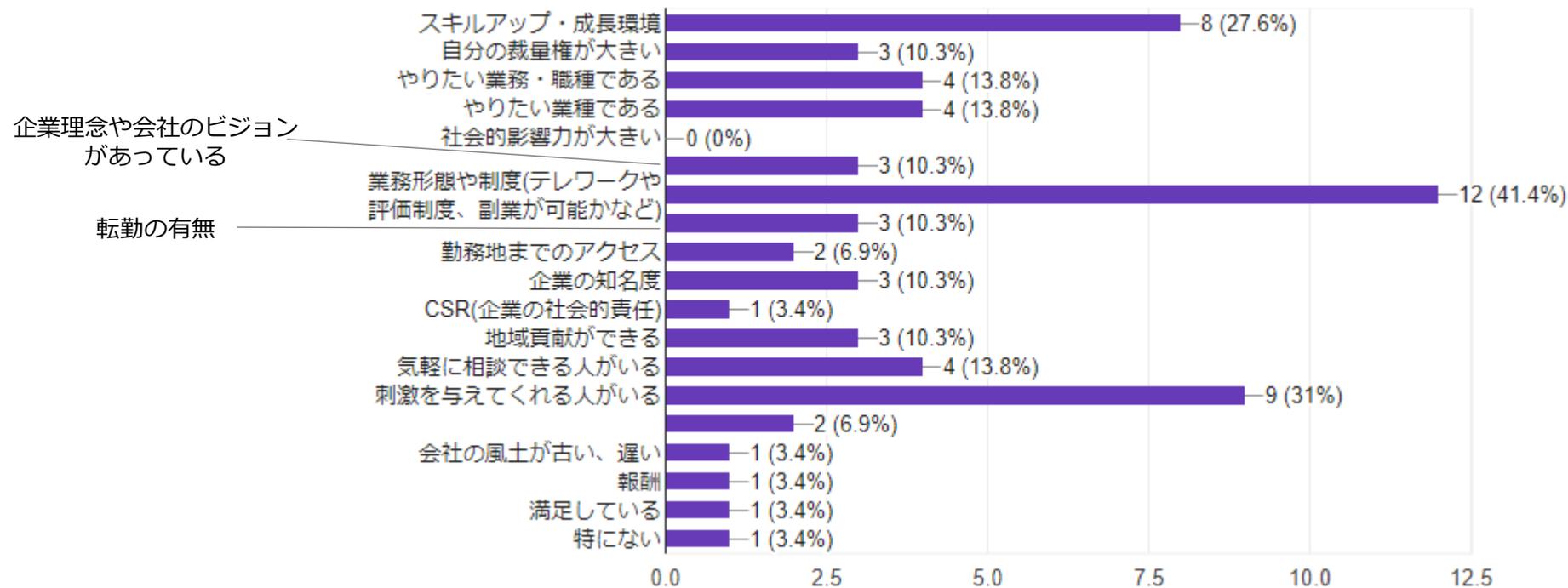


✓働く会社選びに関して「スキルアップ」や「業務内容」といった一般的に言われていることが重視されている傾向にある。

また「刺激を受ける人がいること」や「新しいことに挑戦していること」も重視されている。

アンケート(社会人向け)

今働く企業(環境)において、不足している実感があることを、最大3つまで選んでください

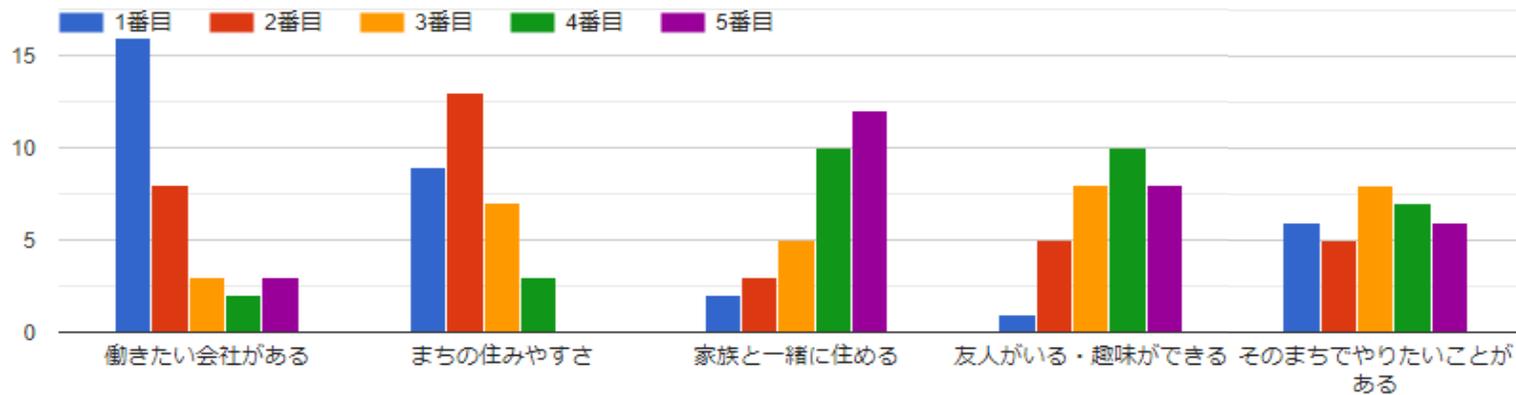


✓ 「業務形態や制度」への不足が最も大きい。

一方で、重視項目であった「スキルアップ」や「刺激を与えてくれる人」の不足も大きい。

アンケート(学生向け)

働くまちを選ぶうえで重要だと感じる順に選択してください



仙台で働いてみたいか？その理由は？

◆自由記述(抜粋)

<働きたい>

住みやすいので仙台で働きたい

仙台に愛着がある

<働きたくない>

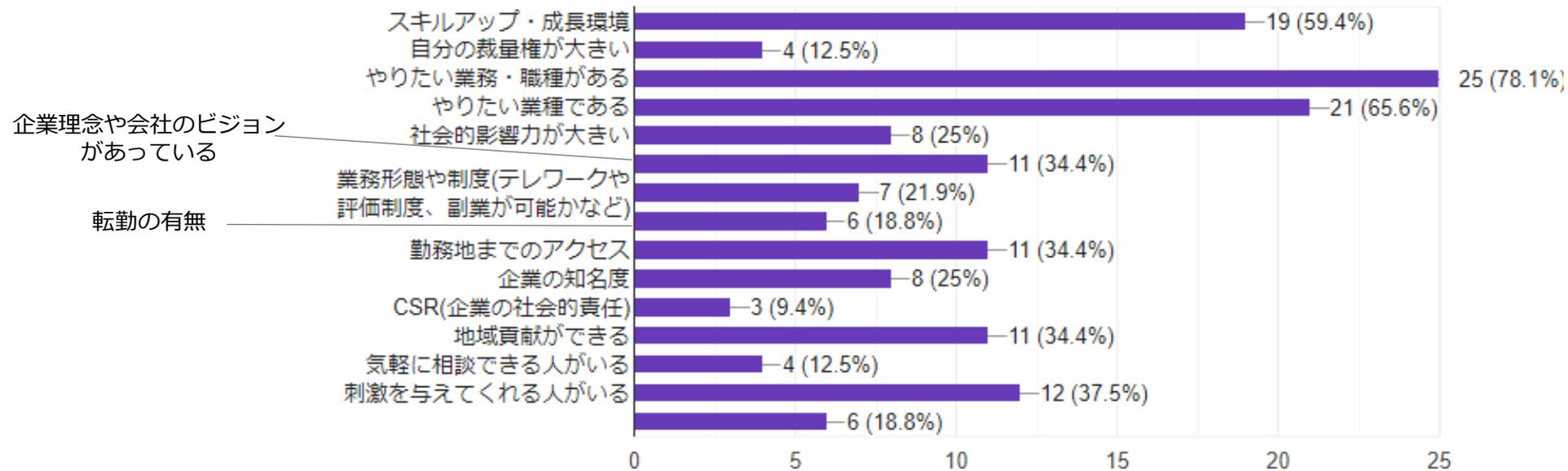
仙台で働く则仕事幅が狭くなりそう

入りたい会社優先で決めたい

- ✓働くまちを選ぶうえで、働きたい会社を最重視。
- ✓家族の項目は社会人よりも優先度が低い。
- ✓仙台の会社でできる事業や業務内容が知られていない、または企業の発信力に課題がある可能性もある。

アンケート(学生向け)

今働く企業(環境)において、不足している実感があることを、最大3つまで選んでください



✓働く企業を選ぶ基準は「業務・業種」など企業基準の他に、「地域貢献」と「刺激を与えてくれる人」がいることなどが重視されている。

アンケートまとめと今後のアクション

「刺激を与えてくれる人」の存在や「スキルアップ」の需要は多い。
しかし、イチ企業内では限界もある…

**仙台という地域が「刺激を与えてくれる人」と出会い、
「スキルアップ」できる地域となれば、よりよく働くことができるのではないか？
それこそが「仙台で働く理由」となるのではないか？**

イベント案

- ✓地元企業の方などのゲストスピーカーをお招きし、
仙台への愛着や魅力について講演していただく。
- ✓社会人と学生間でディスカッション
- ✓仙台で働く理由について、自分なりの愛着×○○を見つける
→ONE MIYAGIと連携し、上記概要でイベント開催計画中

これならば
自分ごととして
取り組める！

感想

今回の活動を通じて「仕事」に対しての多様な価値観に触れることができました。これからは地元企業に勤める身として、仙台で働く魅力を「発掘」し「発信」していこうと思います。

石垣直哉

私は現在、就職活動をしており、自分の将来を考えつつも働く環境として仙台市を見つめ直した4か月間でした。今後は活動で知った仙台市で働くことの可能性を周りの友人や後輩に共有していきたいと思います。

曳地綾香

仙台を“働く”という視点から調査できた貴重な4か月間でした。地元の社会人と関わり、なりたい自分に出会うという経験が学生には必要だと感じたので、今後はそのような機会創出に取り組んでいきたいと感じました。

森田いづみ

今回の活動は新しい体験の連続でした。なかでも、仙台で働いている社会人の方と交流できたことは刺激になりました。仙台市の企業などについて知らないままイメージを抱いていたため、今後は情報を集め、確かなイメージを築こうと思います。

近江綾和